

おとは保育園 令和2年度 事業計画

社会福祉法人 まちむとう福祉会

はじめに

認可化3年目となる本年度は、改めて保育の質の向上に正面から取り組むこととする。

その為に、様々な形で保育を見つめ、学び直す機会を提供する。今年度は新型コロナウイルスの影響次第ではあるが、デンマークへの海外研修に主任を派遣するほか、多くの保育園の見学を実施する。

更には、園内研修を数多く展開し、職員のスキルアップを継続的に実施していく。

この他にも、観察研修の実施など、実践的な保育の質の向上に資する取り組みを行っていく。

尚、「徹底的な環境構成の改善」を掲げ、室内環境改善・人材育成にも力を入れていく。

○期待に胸が膨らむ保育園

○毎日、発見のある保育園

○我が子を預けたくなる保育園の実現を目指して

メインスローガン 「考えながら保育を行おう！」

企画力・構成力・展開力・コミュニケーション力の向上を目指して

4 月～9 月 …集中吸収期間

*他園の見学(市内・国内・海外含む)

*研修の充実(園内研修勉強会・園内観察実習)

*現在、行っていることについてのゼロベースでの見直し

10 月～3 月 …集中改善実践期間

*個の探求・集団の中の個・日本的価値観を踏まえた保育方針の確立

*吸収期間を経ての必要備品の購入・活用

*保育の進め方についての意思統一

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数
はな	0歳	2名+看護師(非) 1	6
ほし	1歳	1	6
つき	2歳	2	12
にじ	3歳	2	14
そら	4・5	2	16・12
	フリー	6	
合計		16	66

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 288日
25日	21日	26日	25日	25日	24日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	23日	23日	22日	22日	26日	

ウ 健康管理

保育園は、子ども達が一日の多くの時間を過ごす場所であることから、健康面については細心の注意をはらって、きめ細かく、子ども達の体調に留意した保育を行っていく。

【子どもたちの健康面に関する具体的取組】

- ※ 定期的に園医が来園し健康診断・歯科検診を行う。(下記一覧参照)
- ※ 入園前に園医による入園前健康診断の受診実施。
- ※ 在園児の予防接種の記録並びに在園児の法定伝染病の罹患記録を園に保管、随時更新する。
- ※ 毎月身長体重を測定し、その結果を健康カードに記入し、保護者にも伝える。
- ※ 乳幼児突然死症候群(SIDS)対策として、乳児(生後12ヶ月まで)のお子様に対し5分おき、1・2歳児 10分おき、幼児 30分おきの睡眠中チェックを行う。(うつぶせで寝ないように気を配る。)
- ※ 0、1、2歳児は1日2回、検温を行う。(体調が思わしくないときは、更に、こまめに検温する。)
- ※ 毎朝、視診表や引き継ぎ表を使用し、登園前のご家庭での様子を確実に担任に引き継ぐ体制を作る。
- ※ 緊急時に備え、職員のAED訓練等を推し進めていく。
- ※ 温度計・湿度計を各保育室に設置し、室内環境の維持を心掛ける。
- ※ 加湿器や空気清浄機を使用し、ウイルスの飛散の防止に努める。
- ※ 害虫駆除・布団乾燥を定期的の実施する。
- ※ 調理担当者は、ノロウイルスへの自主検査を行う。

年間保健行事

内科健診 年2回 6月 1月

歯科健診 全園児(年2回) 6月 1月

エ 保育全体目標

・①健康に必要な正しい日常の習慣を身に付けさせる。②友だちと仲良くし、お互いに助け合う心を育てる。③基礎的な運動能力を高め、調和のとれた身体をつくる。④基礎的な知的能力を個性に応じて開発する。⑤豊かな感性を養い、温かい心を育てる。⑦いろいろな環境の中で、あらゆる能力の開発に努める。

- ・自分らしく過ごす中で、自分を信じ、何事にも懸命に取り組み、やり通すことの出来る子ども
- ・社会性・協調性を身につけ、受容する心を持って全てに接することの出来る子ども
- ・命の大切さを尊び、成長していく喜びを感じる事の出来る子ども

保育理念

子どもの目線に立ち共感しながら一人ひとりに応じた保育を行うとともに、保護者からも信頼される、笑顔あふれる保育園を目指していく・子どもを愛し、あたたかい心で、子どもの心をやさしく育んでいく。

保育者の関わる姿勢

- ・子ども達が安心して過ごすことの出来る生活の場を提供していく。
- ・子ども達の人権を尊重し、個性を大切にしながら、のびのびと成長することが出来る環境設定を行っていく。
- ・子ども達の最も身近な大人の一人として、また、人間の基礎をつくる大事な時期に多くの時間を関わる者として、自覚を持ち、子ども達の範となるような言葉かけや動きを実践する。
- ・子ども達がやさしさや思いやりを持ち、更には基礎的な生活習慣を習得し、ルールの大切さを自分自身で感じ取れるような保育を心掛けていく。
- ・グローバル化する時代の背景に沿って、多種多様な経験が出来る保育内容を心掛ける。

オ 各組の保育目標

年齢別保育目標

(目指す子どもの姿)

保育者の関わる姿勢

はな組

(0歳児)

誕生から急激に発達を遂げる子ども達の 個々の成長に合わせ、保育園が安心して 過ごすことの出来る場所であると思ふことができ、ゆったりとした環境の中での のびのびと生活をし、成長の喜びを感じる ことができる子ども。生きる喜びを子ども達と共有し、常に子ども 達がゆったりと安心して過ごすことのできる 環境設定に配慮する。個々の成長に合わせそ れぞれの生活のリズムを大切にしながら保育 を行なう。子どもと目を合わせながら常に言 葉かけを行なう。体調の変化を見逃さず、保護者の方と共に専門職として子どもの成長を見守る。

ほし組

(1歳児)

手足の発達や言語の発達が著しく見られ る中で、身近な環境に何でも興味を持ち、自分の思いを周りの大人に伝えられる子 ども。自分の思いと集団生活の一員とし ての自制心をバランスよく共有できる子 ども。子どもの気持ちを尊重し、子ども達が興味を もって取り組むことができる活動を計画す る。特に取り組みの前にはこれから行なうことを言葉にして、子ども達の理解を促しながら、丁寧な関わりの中で子ども達が自分で

出来ることを増やしていく。友達同士の関係を あたたく見守りながら必要に応じて、その架け橋となる。

つき組

(2歳児)

自分の思いをはっきりと伝えられ、大人だけでなく子ども同士でも言葉を介し、意思の疎通が図れる子ども。年齢に見合った生活習慣やマナーを習得し(ほぼ自立)、対人関係を構築できる子ども。

自分でやりたいという子どもの思いを大切に受け止めながら、積極的に自分自身で取り組んでいけるように工夫し、出来たときにはその喜びを子ども達自身が実感できるように喜びを共有する。人としてのマナーや生活習慣を無理なく身につけられるよう配慮する。また、物事の善悪を適切な言葉を使い、わかりやすく伝えていく。

にじ組

(3歳児)

幼児クラスの一員となり、友達同士の関わりや保育士との関わりの中で、自我と周囲との関係をよりバランスよく保つことが出来る子ども。自分の周りのあらゆる物に思いやりの心を持つことができる子ども。

園での生活や遊びを通じて、自分一人で生きているのではなく、多くの人々との関わりの中で生活していることが実感できるよう配慮する。その上にたつて、社会的生活を送っていくには様々な決まりごとがあり、したいこととしなくてはならないこと、また押し通していいこと、他者に耳を傾けなければならないことを実例を通じ感じられるよう工夫する。

そら組 B

(4歳児)

基本的な生活習慣が身につく、その上で子ども同士で問題の解決を図ることが出来る子ども。物事に取り組むにあたり、その後についての予測をもって臨むことができる子ども。

子ども達が興味をもって取り組める課題を設定すると共に、展開のある保育を実践する中で、子ども達の想像力や創意工夫を促していく。基礎的生活習慣の確立を目指し、できたときには喜びを分かち合い、できなくても取り組む姿勢を評価し、励ましていく。

そら A 組

(5歳児)

小学校への入学に向けて、規則正しい生活習慣を身につけると共に、どのような課題に対しても集中力を持って臨むことが出来る子ども。今までの経験を活かし、予想や見通しを立て、物事の解決に創意工夫をもって対処できる子ども。

子ども達の自主性を尊重し、遊び込める環境設定を行なう中で集中力を養っていく。特に集団で取り組む課題については、子ども達自身で話し合い、意見の集約が出来るよう、保育の中で子ども達に寄り添っていく。たくさんさんの経験をする中で、子ども自身が自信を持って就学を迎えることができるよう配慮する。

カ 主な行事予定

毎月のねらい 行事

4月

春の自然に触れて遊ぶ。新しい環境に慣れ、安心して過ごす。

入園・進級式 誕生会

5月

自然と触れ合う。好きな遊びを見つけて楽しむ。

端午の節句 泥んこ遊び開始 春の親子遠足(倉敷ダム) 誕生会

6月

身の周りの様々な自然を見つけて遊ぶ。砂・土・水の感触を十分に味わう。

歯を大切にしようね会 泥んこ遊び 誕生会

7月

夏の自然に触れたり、盛夏ならではの遊びを楽しむ。身近な植物の生長から命の大切さを知る。

七夕 水遊び開始 クラシックコンサート 誕生会

8月

水遊び、自治会夏祭り参加 クラシックコンサート 誕生会

9月

秋の気配を感じ、戸外で十分に体を動かす。

高齢者の方と触れ合い、親しみを持つ。

おまねき会(祖父母) 誕生会

10月

友だちと体を動かす喜びを感じる。季節の移り変わりに気づく。

秋遠足(1・2 歳児 近隣公園) クッキング 誕生会

11月

秋の自然に親しみ、自然物を取り入れた遊びを楽しむ。働いてくれている人たちへの感謝の気持ちを持つ。

運動会(コザ運動公園 多目的運動場) お店屋さんごっこ 秋遠足(3～5歳児 荒川土手)誕生会

12月

様々な表現活動を友だちと一緒に楽しむ。新年を迎える期待や喜びを持つ。

クリスマス会 誕生会

1月

お正月遊びを楽しんだり、日本の伝統的な風習を知る。冬の自然に触れ、寒さに負けず元気に運動する。

正月遊び大会 ムービー作り 誕生会

2月

様々な遊びに積極的に取り組む。冬の自然に進んで関わり、豊かな感性を育む。

節分 発表会 誕生会

3月

自然の変化を目にし、春の訪れを感じる。進級・進学への期待を持ち、落ち着いて過ごす。

ひな祭り・お別れ遠足(上野動物園等) 卒園式 卒園児お別れ会 誕生会

*その他、高齢者施設、小中学校との交流、スイミング(3, 4, 5歳児)

宗教上の理由などで一部の行事への参加を見合わせることを保護者が希望する場合は、保護者の意向を尊重する。

キ 食事

旬の食材を出来るだけ多く使用し、変化に富んだメニューの提供を心掛ける。

※献立…毎月、沖縄市の栄養士が献立表を作成した公立保育園と同じ調理を行う。

※離乳食についても、保護者の方との緊密な連携のもと、スムーズな提供に努める。(離乳食の進め方については、0歳児クラスの保護者に配布する食事・発達のめやす表を活用しながら進めていく。)

※離乳食については、初期・中期・後期に区分し、個々の成長に合わせ、栄養士・調理・保育担当者が調節しながら提供する。

※幼児食については、1～5歳児まで同一のメニューを採用するが、3歳未満児と3歳以上児

では、量や食材の大きさを変える。(必要栄養摂取量を基に)

※アレルギー除去食へのきめ細かい対応。(特に献立作成時の配慮を心掛ける。)

※毎日お迎えの時間帯に給食・手作りおやつの見本展示を行う。

※配膳時に職員は食事専用のエプロン・三角巾を使用する。

※幼児クラスでは、子どもも、お当番活動を行う。

※材料は、原則として国産のものを使用するように努める。

(魚や一部の野菜等、やむを得ないものは、輸入品を使用する。)

※魚は、骨抜き加工したのものを使用する。※沖縄市の栄養士が毎月食育便りを発行したものを配布し、啓発に努める。

ク 安全管理

交通安全教育(年1回)

非常災害時の避難訓練(毎月)

引き渡し訓練の実施(年1回)

(2)職員の処遇

ア 職員構成

園長 1名

主任 1名

保育士 15名

調理員 4名(常勤1名・非常勤3名)

看護師 1名(短時間)

事務長 1名

嘱託医 2名(非常勤)

非常勤、パート 若干名

イ 健康管理

健康診断 年 1回(5~10月)*特定者は人間ドックの受診

ノロウイルス検査 調理担当者 毎月

ウ 職員会議

- ・職員全体会議 毎月 1 回
- ・リーダー会議 原則、毎月1~2回(園長・副園長・副主任)
- ・クラスミーティング クラス単位で原則、毎週 1 回(副園長・クラス担任)
- ・離乳食会議 原則、月 1 回(離乳食の提供がある間)
- ・給食会議 毎月1回(全体会議の中で…喫食状況・食育活動など)
- ・リスクマネジメント委員会 原則、毎月1回(園長・しゅにん・看護師)
- ・防災・防火委員会 原則、毎月1回(園長・主任・職務リーダー)

エ 研修計画

職員個人別研修計画(自己向上シート)を作成し、それに基づいて適切な研修への参加を勧奨する。今年度は、特に受講後の園内における共有を意識した取り組みを実施する。

園内研修

昨年から実施した勉強会が職員からも好評を得ているので、今年も職員から学びたいテーマを聞き取り、実施していく。

オ 労務規程

就業規則をはじめ各種規程を設け、職員の処遇を担保すると共に、その向上に努める。

2 特別保育事業

延長保育事業 原則として 30分延長を行い、19時 00 分までの開所とする。

② 地域活動推進事業

・世代間交流等事業

利用者の方や地域の方(デイサービス事業や町会)との交流を通じて、世代間のふれあい活動を行う。

・異年齢児等交流事業

園内での日常的な異年齢保育を積極的に行う他、小学校との連携を図り、児童の社会性を養う。

・中高校生保育体験事業

中学生が、子どもや家庭の大切さを理解できるよう乳幼児とふれあう場作りを行う。

・食育等推進事業

給食試食会を開催の開催、食育だよりの発行等多面的な展開を図る。

3 施設管理 (1)事務関係

ア 会計事務、管理事務

園長を中心に適切に行っていく。

イ 児童処遇事務(保育、給食、健康管理)

施設長・主任が統括する。

(2)設備関係

機器・遊具の設備点検…定期的に実施する。

(3)備品関係

必要に応じ、備品・消耗品の購入を行う。

尚、仕入れ先は可能な限り限定し、事務効率の向上を図る。

カード払いの積極的活用

(4)災害対策

ア 避難訓練・消火訓練

毎月1回

イ 防災設備の点検委託

年2回(内、届け出1回)

ウ 非常食糧の備蓄

80(全児童数+全職員数)×3食×(1日~3日)分

4 保護者に向けて

(1)保育への理解と協力の促進

ア 保育参加

保育参加は日程を複数設定し実施する、運動会、誕生会は参加と参観に充てる。

イ クラス別懇談会

年2回、クラス毎に開催。

ウ 個人面談

個人面談を年1回以上実施する。

エ お知らせ

・園だより毎月発行

・クラスだより毎月発行

・保健だより毎月発行

・食育だより毎月発行

・献立表(離乳食・幼児)毎月1回発行

5 地域社会との連携 開かれた保育園を目指し、地域との関わりを積極的に持つよう努める。

* 地元町会への参加

* 近隣中学校・小学校・保育園・児童館等の教育施設・児童福祉施設との連携

* 福祉センターとの連携

*子育て支援団体への参加 等

6 その他 第三者評価を受審し、結果を公表する

【全体的な計画B】

令和2年度 おとは保育園 全体的な計画

発行日：R2/3/28

保育理念		保育方針									
子どもの目線に立ち共感しながら一人ひとりに応じた保育を行うとともに、保護者からも信頼される、笑顔あふれる保育園を目指していく	乳児（保育士の関わり）	①養護と教育の一体的な展開を図り、保育内容の質を高め充実させる②子どもの好奇心、自発性を尊重する③小さな人権を尊重して、自立心に遊んだり、活動したりすることを楽しむ	特色ある保育 ピアニカ指遣及び合奏への取り組み、園外プール教室、文字・数教育の試み、リトミック、ヨコミネ式教育の導入								
	1歳児	安定した情緒の中で、保育士に親しみをもつて過ごす	主な行事 入園式/始業式/誕生会/健康診断/保育参観/運動会/クリスマス会/ムービーづくり/発表会/節分集会/お別れ遠足/卒園式								
	2歳児	保育士とかわりながら、安定した園生活を過ごす	保育時間 7:30～18:30（延長18:30～19:00）土曜日7:30～18:30								
	3歳児	身近なものに関わり、喜び、好奇心、自発性を尊重する									
	4歳児	喜怒哀楽などの豊かな感情を育む									
3つの柱	1歳児	乳児（保育士の関わり）	様々なものに保育士と一緒に関わる	3歳児	様々な気付きや発見を理解する	4歳児	日常生活に必要な言葉や表現で伝え合う	5歳児	規則・法則性などに気付き、見通しを立てたり、振り返りたりする		
	2歳児	安心・安全に過ごす	自分の思いや気持ちを伝えようとする	3歳児	基本的な生活習慣の取得	4歳児	適切な運動と休息のびのびと活動に参加する	5歳児	健康で安全な生活を送る		
	3歳児	欲求を満たす	安心して過ごす	4歳児	基本的な生活習慣の取得	5歳児	意欲や自信をもつ	6歳児	健康な生活習慣の取得		
	4歳児	健康	保育教諭とのやり取りを楽しむ	5歳児	自然の不思議や言葉の楽しさを知る	6歳児	相手の気持ちや考えを理解しようとする	7歳児	様々な運動に興味をもつ		
	5歳児	人間関係	保育教諭の真似を真似たり触れたい	6歳児	様々な素材に親しみをもつ	7歳児	公共の場での行動の仕方を知る	8歳児	相手の気持ちや考えを理解しようとする		
養護	3つの視点	乳児（保育士の関わり）	生活リズムを整える	2歳児	我がままを我慢する	3歳児	基本的な生活習慣の取得	4歳児	適切な運動と休息のびのびと活動に参加する	5歳児	健康で安全な生活を送る
	健康	5領域	心地よさや安心感が得られるように配慮	2歳児	新しい生活に慣れる	3歳児	自分の生活リズムを整える	4歳児	適切な運動と休息のびのびと活動に参加する	5歳児	健康な生活習慣の取得
	人間関係	環境	保育教諭の真似を真似たり触れたい	3歳児	担任や友だちへの親しみをもつ	4歳児	担任や友だちへの親しみをもつ	5歳児	公共の場での行動の仕方を知る	6歳児	相手の気持ちや考えを理解しようとする
	環境	言葉	保育教諭の真似を真似たり触れたい	4歳児	自然の不思議や言葉の楽しさを知る	5歳児	自然の不思議や言葉の楽しさを知る	6歳児	公共の場での行動の仕方を知る	7歳児	相手の気持ちや考えを理解しようとする
	言葉	表現	保育教諭の真似を真似たり触れたい	5歳児	様々な素材に親しみをもつ	6歳児	様々な素材に親しみをもつ	7歳児	公共の場での行動の仕方を知る	8歳児	相手の気持ちや考えを理解しようとする
教育	3つの視点	乳児（保育士の関わり）	生活リズムを整える	2歳児	我がままを我慢する	3歳児	基本的な生活習慣の取得	4歳児	適切な運動と休息のびのびと活動に参加する	5歳児	健康で安全な生活を送る
	健康	5領域	心地よさや安心感が得られるように配慮	2歳児	新しい生活に慣れる	3歳児	自分の生活リズムを整える	4歳児	適切な運動と休息のびのびと活動に参加する	5歳児	健康な生活習慣の取得
	人間関係	環境	保育教諭の真似を真似たり触れたい	3歳児	担任や友だちへの親しみをもつ	4歳児	担任や友だちへの親しみをもつ	5歳児	公共の場での行動の仕方を知る	6歳児	相手の気持ちや考えを理解しようとする
	環境	言葉	保育教諭の真似を真似たり触れたい	4歳児	自然の不思議や言葉の楽しさを知る	5歳児	自然の不思議や言葉の楽しさを知る	6歳児	公共の場での行動の仕方を知る	7歳児	相手の気持ちや考えを理解しようとする
	言葉	表現	保育教諭の真似を真似たり触れたい	5歳児	様々な素材に親しみをもつ	6歳児	様々な素材に親しみをもつ	7歳児	公共の場での行動の仕方を知る	8歳児	相手の気持ちや考えを理解しようとする

幼児期の終わりにまで育ててほしい10の姿
 (1) 健康な心と体 (2) 自立心 (3) 協同性 (4) 道徳性・規範意識の芽生え (5) 社会生活との関わり (6) 思考力の芽生え (7) 自然との関わり・生命尊重 (8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (9) 言葉による伝え合い (10) 豊かな感性と表現